

5-8 浅部ボアホールにおける歪観測（網代，内浦，御前崎，河津，和歌山）

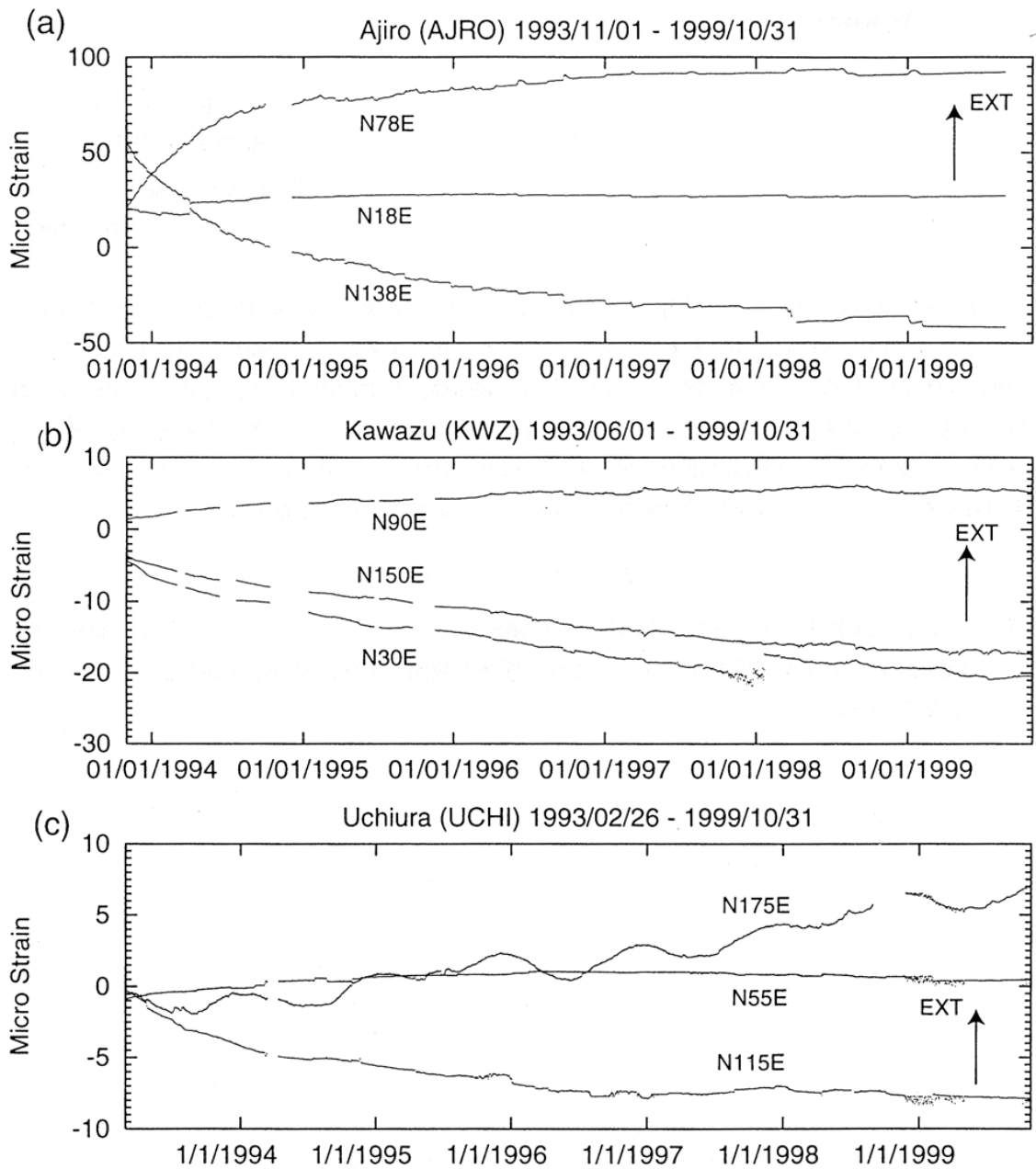
Strain observation in shallow boreholes at Ajiro, Uchiura, Omaezaki, Kawazu and Wakayama

東京大学地震研究所
地震地殻変動観測センター
Earthquake Observation Center
The University of Tokyo

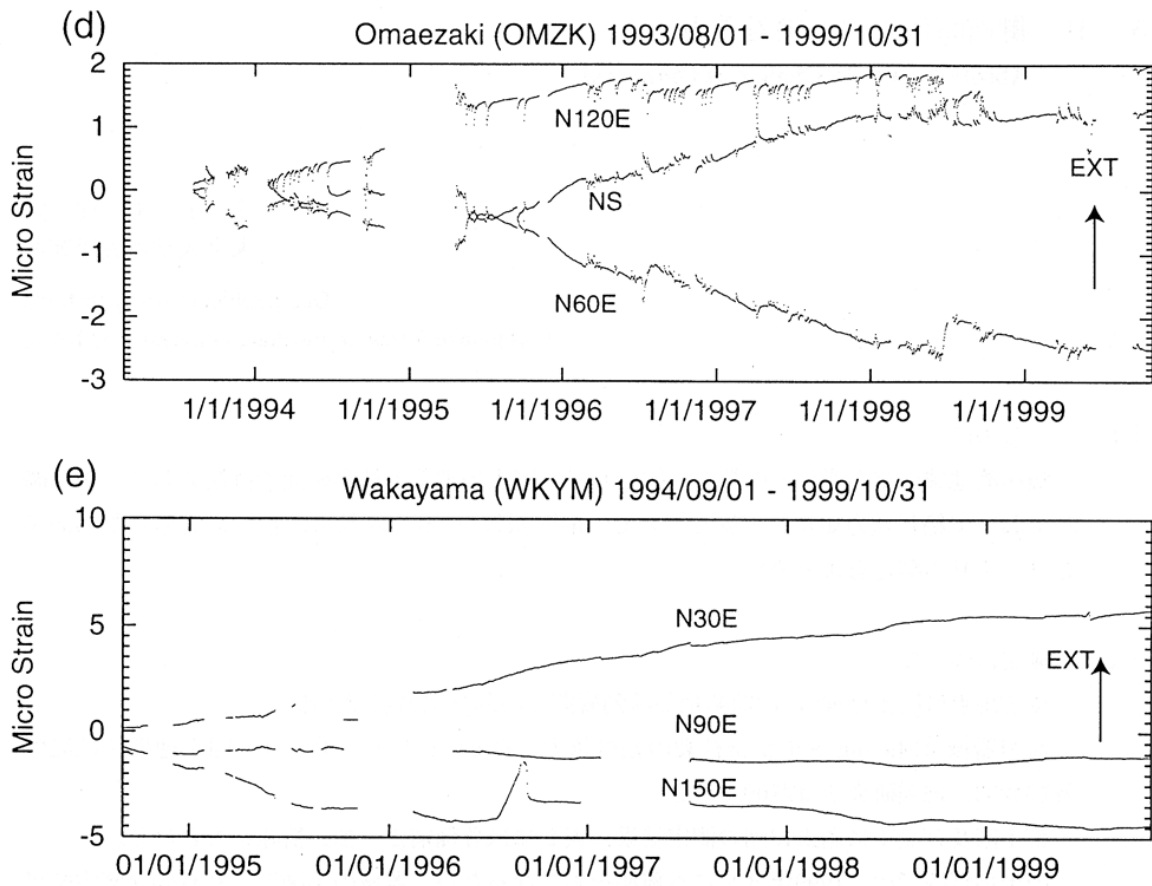
1990年代はじめに開発された小型多成分ボアホール歪計¹⁾が横坑内に掘削された1mから5mのボアホールに埋設され観測が行われている。この歪計は現在地殻活動総合観測装置のうちの歪計と原理は同じ物である。第1図に網代，河津，内浦，御前崎，和歌山観測点で観測された歪の日平均値を示す。網代観測点では2成分に約1年数ヶ月継続する初期ドリフトと考えられる変化が顕著にみられる。御前崎観測点では降雨の影響が明瞭に観測されている。各観測点とも設置直後のドリフトはなくなっているが，異常変動は観測されていない。第2図に観測点配置を示す。

参 考 文 献

- 1) 石井紘，松本滋夫，平田安廣，山内常生，高橋辰利，鈴木喜吉，渡辺茂，若杉忠男，加藤照之，中尾茂，新しい小型多成分ボアホール歪計の開発と観測，地球惑星科学関連学会1992年合同大会，205，1992.

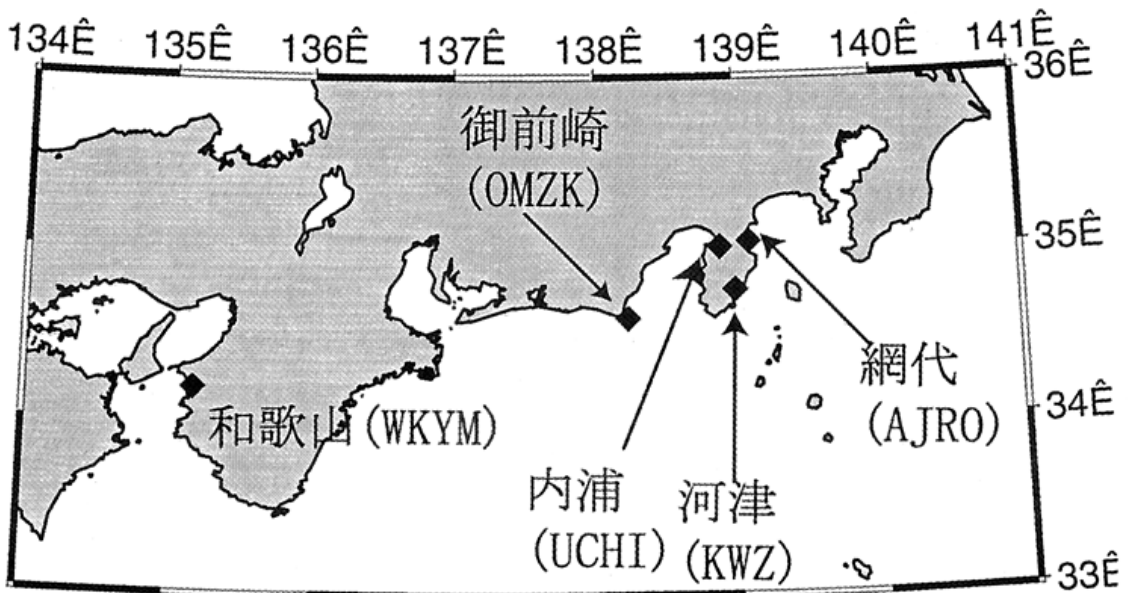


第1図 網代(a), 河津(b), 内浦(c)観測点でボアホール歪計より観測された歪変化(日平均値).
 Fig.1 Strain change (daily mean) observed in shallow boreholes at Ajiro(a), Kawazu(b) and Uchiura(c).



第1図 (つづき) 御前崎(d), 和歌山(e)観測点においてボアホール歪計により観測された歪変化(日平均値)。

Fig.1 (continued) Omaezaki(d) and Wakayama (e).



第2図 観測点配置図。

Fig.2 Location map of strain meter sites.